

電力自由化後のドイツの歩み・ 核廃棄物「最終処分場委員会」のゆくえ

ドイツ最大の環境団体のひとつ、BUND（ドイツ環境自然保護連盟、FoE ドイツ）の代表フーベルト・ヴァイガー氏らが来日します。ドイツの原発・エネルギー問題の最前線について報告し、日本の状況とも比較しながら意見交換します。ぜひご参加ください。

【日時】 2016年 3月14日（月） 18：30～20：30

【場所】 パルシステム 東京本部 2F
東京メトロ副都心線・都営地下鉄大江戸線東新宿駅 B2 出口から徒歩 3 分
JR 山手線新大久保駅から徒歩 10 分

【プログラム（予定）】

1. 放射性廃棄物の最終処分場問題

- ・最終処分場委員会の開催期限は 2016 年上半期。大詰めを迎える議論
- ・処分場委員会に参加する FoE ドイツの主張
- ・市民参加の状況など

2. 電力自由化後のドイツの歩み

- ・1998 年の電力自由化後、ドイツでは何が起こったか
- ・再エネ 100%電力会社について
（Naturstrom は、FoE ドイツが設立に関わっている）
安さの訴求は？大手の状況は？
- ・電源構成の開示、具体的には？
- ・石炭火力発電（ドイツでは、2000 年代、各地での反対運動によりかなりの数の計画が中止されている）
- ・市民・地域主導のエネルギーシフトの現状について

フーベルト・
ヴァイガー



リヒャルト・
メルクナー



話題提供： フーベルト・ヴァイガー（BUND／FoE ドイツ代表理事）

リヒャルト・メルクナー（BUND／FoE ドイツ・バイエルン州支部理事）

コーディネーター： 吉田明子（FoE Japan）

【主催】 FoE Japan

【協力】 フリードリヒ・エーベルト財団、パルシステム連合会

【資料代】 500 円 （FoE Japan サポーターは無料）

【申込】 FoE Japan ウェブサイトよりお申し込みください。

【問合せ】 info@foejapan.org 03-6909-5983（吉田）

●現在のドイツの状況と環境団体、FoE ドイツの取り組み

1) 高レベル放射性廃棄物最終処分場問題と市民参加

長らくゴアレーベンが最終処分場の候補とされてきましたが、安全性や住民の反対などにより 2013 年に白紙撤回されました。新たに審議会「最終処分場委員会」が立ち上げられ、2016 年までに選定基準を提案、2031 年ごろまでに決定する予定です。

委員会メンバーには、各政党や各州の代表のほか、専門家や市民団体の代表も参加しており、FoE ドイツからも、副代表のクラウス・ブルンスマイヤー氏が参加しています。市民の意見を伝えるために重要という一方、核廃棄物について責任を取るべきは推進派であるという意見など、参加については内部でも複雑な議論がありました。各地での意見交換会など、市民参加を促すための工夫がなされた最終処分場委員会の議論もいよいよ大詰めを迎えています、

・最終処分場委員会（ドイツ） <http://www.endlagerung.de/>

2) エネルギーシフトの現状と政策

ドイツでは、1998 年から電力小売自由化をしていますが、それだけで再生可能エネルギーを増やせたわけではありません。「安い電源」として石炭火力発電所の建設も多数計画され（しかし多くが住民・環境団体の反対で撤回）、原発の電気を「クリーン」として売る電力会社もあります。

一方で、2015 年には再生可能エネルギーの割合が 30%以上に達するなど、再生可能エネルギー優遇政策によるエネルギーシフトの実質的成果が着々と上がっています。建設される再生可能エネルギーの半分近くが「市民のエネルギー（個人所有や共同発電所）」であり、再生可能エネルギーの推進によって大手電力会社から地域や市民へのパワーシフトが起こっています。

●プロフィール

<フーベルト・ヴァイガー氏> Hubert Weiger

2007 年より FoE ドイツ（ドイツ環境自然保護連盟）代表理事。また FoE ドイツ・バイエルン州支部代表理事。

1974 年より自然保護連盟（FoE ドイツの前身、バイエルンの環境団体）の代表メンバーの一員であり、1975 年のドイツ環境自然保護連盟創設者のひとり。

専門は森林生態学、農学など。また反原発運動にも 40 年来携わる。

ドイツ政府・持続可能な開発審議会委員、欧州自然財団理事、バイエルン州公共ラジオ評議会評議員、トランスペアレンシー・インターナショナルドイツ評議員、ドイツ食糧農業消費者省・森林政策審議会委員 ほか。1947 年生まれ。2011 年 9 月、2012 年 3 月に来日し、福島、東京、福岡を訪問、講演。

<リヒャルト・メルクナー氏> Richard Mergner

2002 年より FoE ドイツ・バイエルン州支部理事。

経済地理学専攻。1990 年より FoE ドイツ・バイエルン州支部ニュルンベルク事務所のスポークスパーソン（専門担当官）。地域グループの取りまとめの他、公的機関である地域開発組合における環境団体の代表、地域開発計画の作成や遂行に関わる。1999 年から FoE ドイツの交通政策分科会の代表をつとめる。欧州交通政策グループ ITE や、プロテスタント教会の環境会議（KUK）メンバーなどもつとめる。2012 年 3 月に来日。